

2022年5月24日

電通プロモーションプラス、「第51回フジサンケイグループ広告大賞」にて 最高賞の「メディアミックス部門グランプリ」を受賞！

株式会社電通プロモーションプラスが企画制作に携わった「サントリー BOSS」の作品が「第51回フジサンケイグループ広告大賞」の最高賞にあたる「メディアミックス部門グランプリ」を受賞いたしました。

「フジサンケイグループ広告大賞」は、「広告の総合性」「広告の創造性」「広告の大衆性」という3つの広告特性に優れた新聞、テレビ、ラジオ、雑誌、ウェブの広告を顕彰する、1971年に設立された総合広告コンクールです。賞の構成は、フジサンケイグループ広告大賞グランプリを含む「メディアミックス部門」、各媒体別に作品を審査する「メディア部門」「クリエイティブ部門」「パブリック部門」、話題性の高い広告や社会に貢献した企業キャンペーンなどを表彰する「特別部門」があり、今回は、2021年にフジサンケイグループの各メディアで放送、掲載された広告254作品の中から33作品が選ばれました。

【第51回フジサンケイグループ広告大賞 受賞概要】

- 受賞：メディアミックス部門グランプリ
- 担当カテゴリー：デジタルメディア「BOSS×ザ・ドリフターズ」
- 広告主：サントリーホールディングス株式会社
- 商品名：BOSS
- 作品名：働く人の相棒
- 担当者：
- クリエイティブ
 - PL/CW：久我佳太（OMOプランニング事業部 プランニング CR1部）
 - AD：川原田しゅん（OMOプランニング事業部 プランニング CR1部）
 - D：ミウラユウタ（OMOプランニング事業部 プランニング CR2部）
 - D：小澤幸希（OMOプランニング事業部 プランニング CR2部）
 - CRP：水野里美（CXソリューション開発事業部 CXテクノロジー1部）
 - CRP：小川勇樹（第1アカウント事業部）
- デジタル
 - D：菅原裕亮（CXソリューション開発事業部 オウンドメディア・プロデュース部）



<企画意図>

休業。時短。出社制限。新型コロナウイルスが急速に拡大した 2021 年 2 月。そんな中、“働く人の相棒”である BOSS として、せめてものつかの間の一服を楽しんでほしいという想いを込めて、「働く人に、ゴールデンタイムを。」というコンセプトを設定。ザ・ドリフターズを起用し、「ほんとに、ほんとに、ご苦労さん」という労いと、「つぎ、いってみよう！」という励ましを送るムービー、キャンペーンを展開。YouTube の再生回数は 722 万回を超え、高評価数も 3.6 万いいねを獲得するなど、数多くの働く人に共感いただけたキャンペーンになりました。

■受賞：メディアミックス部門グランプリ

■担当カテゴリー：デジタルメディア「BOSS×KEIBA」

■広告主：サントリーホールディングス株式会社

■商品名：BOSS

■作品名：働く人の相棒

■担当者：

CW：久我佳太（OMO プランニング事業部 プランニング CR1 部）

AD：川原田しゅん（OMO プランニング事業部 プランニング CR1 部）

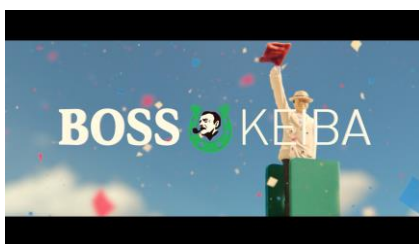
D：ミウラユウタ（OMO プランニング事業部 プランニング CR2 部）

CRP：水野里美（CX ソリューション開発事業部 CX テクノロジー1 部）

CRP：小川勇樹（第 1 アカウント事業部）

●デジタル

D：菅原裕亮（CX ソリューション開発事業部 オウンドメディア・プロデュース部）



※「フジサンケイグループ広告大賞」詳細について：

<https://www.fujisankei-g.co.jp/koukoku-taisho/about/>

<https://www.fujisankei-g.co.jp/koukoku-taisho/51/>

【本件のお問い合わせ先】

株式会社電通プロモーションプラス 事業戦略室 コミュニケーションデザイン部 / メール：kouhou@dentsutec.co.jp